

(一社)世界文化遺産地域連携会議 2023年度総会資料

新メンバーのご紹介

(議案1) 2022年度事業報告

(議案2) 2022年度決算報告

(議案3) 2023年度事業計画

(議案4) 2023年度予算

(議案5) 課題への対応

新メンバーのご紹介(2022年度総会以降)

青森県 青森市
青森県 つがる市
青森県 外ヶ浜町

八重樫忠郎(平泉文化センター客員教授)

※定款により、3市町の首長は理事に



(議案1) 2022年度 事業報告

1 連携・交流

(1)メーリングリストの継続・・・年間利用回数101回(通算1130回)

(2)総会(8月29日:リモート開催)

(3)交流会(新型コロナのため実施できず)

(4)世界遺産サミット

第9回世界遺産サミット(2022年10月29・30日:富岡製糸場 西置繭所) ※敬称略	
第1日 ① 主催者挨拶、来賓挨拶 ② 分科会 テーマ1「文化遺産の減災対策－耐震対策を中心に」 コーディネーター:西川英佑(関西大学助教) パネリスト:大國 晴雄(大田市元教育長) 加藤 修治(公益財団法人 文建協札幌監理事務所長) 八重樫 忠郎(平泉文化研究センター客員教授) 西岡 聡(文化庁耐震対策担当調査官) 森田 昭芳(富岡市世界遺産観光部長) ③ 分科会 テーマ2「文化遺産と地域コミュニティの参画」 コーディネーター:熊倉浩靖(高崎商科大学特任教授) パネリスト:宮丸 和之(白川村教育長) 高宮 史郎(宗像市教育長:オンライン出演) 岡井 健(NPO 法人日光門前まちづくり 理事長) 栗原 知彦(ぐんま島村蚕種の会 会長) ◇ 富岡製糸場見学(ガイドツアー) ◇ 交流会	
第2日 ① 基調講演:『文化遺産の持続可能なマネジメント』 西山徳明(北海道大学観光学高等研究センター教授) ② 分科会結果報告 ③ 首長会議 榎本・富岡市長 臂・伊勢崎市長 新井・藤岡市長 中西・斑鳩町長 里美・下仁田町教育長 宮丸・白川村教育長 西川・関西大助教 西岡・文化庁調査官 進行・熊倉 高崎商科大学特任教授	
エクスカージョン	コースⅠ 富岡製糸場～荒船風穴(下仁田町)～高崎駅 コースⅡ 富岡製糸場～高山社(藤岡市)、田島弥平旧宅(伊勢崎市)～高崎駅
1 日目	https://youtu.be/1ZUfrpcebVQ
2 日目	https://youtu.be/KCWphKyRxZI



2 要望活動

新型コロナのため実施できず、再開時の要望内容に関する議論のみ実施した。

3 遺産別 PT、地域課題などに関する情報収集・意見交換

(1) 斑鳩PT(最終年度)

- ①多言語ガイドブックの制作
- ②多言語 MAP の制作
- ③斑鳩セミナー(斑鳩・小田原)の開催
- ④多言語 HP の制作

(2) 石見銀山(西日本の世界遺産連携)PT(最終年度)

仙台駅・品川駅・横浜駅・静岡駅・金沢駅・名古屋駅・京都駅・大阪駅・三宮駅・岡山駅・広島駅・小倉駅・博多駅・熊本駅・鹿児島中央駅においてデジタルサイネージ「西日本の世界遺産」連携広告を実施。「石見銀山×温泉津・夜神楽」映像についても一部で活用した。

(初年度:大阪駅ジャック→2年目:名古屋駅・広島駅・博多駅→3・4年目:首都圏16駅 という5年計画で実施。予算は1-4年目250万円、5年目400万円程度)。



(3)各地との意見交換等

遺産名	訪問日等
北海道・北東北の縄文遺跡群	5月4－6日（北秋田市・鹿角市・弘前市・七戸町・一戸町）、7月27－29日（事務局宿舎：函館市・洞爺湖町・伊達市・千歳市）、9月7－9日（映像撮影：函館市・弘前市・七戸町・一戸町・北秋田市）
平泉	5月1－3日（映像撮影：平泉町・一関市）
日光の社寺	5月18日（日光市ほか）、ライトアップ日光（11月5日）
富岡製糸場と絹産業遺産群	5月19日（富岡市・世界遺産サミット打合せ）・6月14日・10月28－30日（世界遺産サミット）
国立西洋美術館	10月27日（国立西洋美術館）
白川郷・五箇山	10月14日（白川村）
古都京都の文化財	6月6日・7月8日・8月22日（門川代表理事）・8月29日（総会）・9月9日・9月22日・10月26日（門川代表理事）・12月12日・12月15日・2月2日・3月25日
古都奈良の文化財	6月6日・7月21日（奈良市・東大寺）・7月25日（春日大社・興福寺・平城宮跡歴史公園）・8月13－15日（映像撮影）・9月15日・10月6日・12月9日・1月18日・1月23日（仲川副代表理事）・2月22日
法隆寺地域の仏教建造物	10月17日（中西副代表理事）・3月7日
紀伊山地の霊場と参詣道	11月25日（田辺市・白浜町）
百舌鳥・古市古墳群	3月12日（世界遺産劇場IN百舌鳥古墳群）
姫路城	9月26日（清元副代表理事）・10月26日（シロノヒカリ・姫路市役所）
原爆ドーム	6月8日（広島市）・6月10日（JR西日本広島支社長）
厳島神社	6月9日（廿日市市・厳島神社）
明治日本の産業革命遺産	6月22日（長崎市）
「神宿る島」宗像。沖ノ島と関連遺産群	6月19日（筑前大島・清掃イベント）
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	6月20日－22日（五島市・新上五島町・小値賀町・長崎県庁）
琉球王国のグスク及び関連遺産群	11月1－4日（映像撮影：那覇市・南城市・うるま市・北中城村・沖縄県・首里城歴史公園）
国関係 ほか	5月23日、7月1・2日、7月12－14日、7月25・26日、10月31日、11月28－30日 （文化庁・日本博事務局・国交省・観光庁・JNTO・日本観光振興会・世界遺産議連・世界遺産サミット議連・世界遺産コンサート・世界遺産写真展・世界遺産検定・NHK・デジタルサイネージ関係等）



4 各種 共同事業の推進

(1) 世界遺産リレー催事

2017年、姫路市からの提案を受け検討開始。2019年より「日本博」の一環で、文化庁・日本芸術文化振興会からの資金を得て実施し4年目。

○が概ね予定通り実施できた催事、うち◎が新規のもの。

△は残念ながらコロナにより縮小実施となった催事。

春

① **世界遺産桜リレー（1月末～5月中旬）** △・・・今帰仁城跡（沖縄）→鹿児島・天草四郎の原城跡（南島原）→厳島神社・萩・石見銀山・姫路城・二条城・吉野・富士山周辺（富士吉田・富士河口湖）・韭山→富岡・日光→平泉・橋野鉄鉱山跡（釜石）。桜の開花時期にあわせ15の世界遺産地域が連携。一部についてはコロナのため縮小やバーチャル配信を余儀なくされた。

② **明治日本の産業革命遺産・春のキャンペーン（GW 中心）** △・・・釜石・八幡・佐賀・鹿児島の各エリアでイベントや世界遺産ウォークなど。

③ **平泉・藤原まつり（5月）** ○・・・5月3日に再開。都落ちした義経を平泉が温かく迎える様が再現された。



①



①



①

夏

④ **富士山お山開き（7月）** ○・・・山梨側が7月1日、静岡側は10日。富士宮浅間大社ほかでの神事を皮切りに、関連催事が各箇所で開催。

⑤ **世界遺産写真展（大阪：7～8月）** ○・・・2022年の東京ミッドタウンに引き続き、大阪の富士フィルムギャラリーにて、著名写真家の協力により実施された。

⑥ **縄文まつり2022（7～10月）** ◎・・・新しく世界遺産登録された地域のうち、青森県弘前市と七戸町・岩手県の一戸町・秋田県の北秋田市が連携し、スタートを切ることができた。

⑦ **なら燈火会等（8月）** △・・・お盆シーズンの奈良の夜を彩る「燈花会」「東大寺万燈供養」「春日大社万灯籠」「高円山送り火」が久しぶりにそろう踏みした。

⑧ **広島・原爆の日（8月）** △・・・コロナにより、とうろう流しは関係者のみでの実施となり、今回も一般参加は実施されなかった。

⑤



⑥



⑦



秋

⑨ **NAKED GARDEN ONE KYOTO** (9~12月) ◎・・・新しい試みとして、京都を一つの「庭」と見立てた壮大なイベントが二条城などで実施された。

⑩ **宗像大社 みあれ祭** (10月) △・・・10月1日の「海」の祭。今年も漁船数は自粛制限された。

⑪ **姫路城イルミネーション** (10~11月) ○・・・実行委員会共催事業。「シロノヒカリ」と銘打って、さまざまな趣向を凝らしたライトアップが実施された。

⑫ **世界遺産サミット in 富岡** (10月) ◎・・・1—(4) 参照。

⑬ **白川郷・五箇山 一斉放水** (10~11月) ○・・・2022年より時期を秋に戻し実施。

⑭ **首里城復興祭** (10~11月) ○・・・首里城焼失を受け新設されたイベント。古式行列などに加え、2022年には本殿の主柱となるお木曳行事がおこなわれた。

⑨



⑪



⑬



冬

⑮ **サイレント・クリスマス** (11~12月) ○・・・南島原市のフェスティビタス・ナタリス（南蛮行列）再開に加え、平戸市で春日の祈り、天草市や長崎市では教会行事などが実施された。

⑯ **御燈まつり** (2月) △・・・紀伊山地・神倉神社の「火祭り」。神事のみの実施。

⑰ **百舌鳥古墳群・世界遺産劇場** (3月) ○・・・仁徳天皇陵に隣接する大仙公園にて、山崎まさよしコンサートを実施。

⑱ **温泉津の夜神楽** (通年) ○・・・石見銀山の港であった温泉津（世界遺産構成資産）にて、毎週土曜夜に石見神楽（日本遺産）上演が続けられている。

⑮



⑰



⑱



(2) 情報発信

①HPの充実

<https://worldheritagejpn.com/>

「赤い糸」奥下和彦氏による各遺産のマークデザイン

× 11言語（日・英・中簡・中繁・韓・仏・独・西・葡・伊・露）

②映像制作

平泉（藤原まつり）、奈良の夏の夜（燈花会等）、北海道・北東北の縄文遺跡群（縄文まつり）、琉球王国（首里城復興祭）の4映像（各3分）を11言語のテロップ入りで新規制作した。



③SNS 広告

YOUTUBE 広告にて平泉・縄文遺産映像を台湾、琉球王国映像を豪州、潜伏キリシタン（サイレント・クリスマス:2021 年度撮影）を韓国、また BiliBili 広告で奈良映像を（YUTUBE 視聴不可の）中国に発信した。30 秒以上視聴者数はそれぞれ 12.6 万・12 万・16.8 万・11.9 万・4.9 万人であり、通算視聴者数は約 115 万人（主に海外）となった。

時期	催事名	時点での最多視聴国 ※旧 URL 含	最多視聴言語のアドレス (奈良配信は BiliBili)
春	富士山の桜	日本 (5万人) ※	https://youtu.be/M4JrnWcbGFs
	平泉・藤原まつり	台湾 (12・6万人)	https://youtu.be/ReNx9aqU4oQ
	石見銀山と夜神楽	ブラジル (16万人)	https://youtu.be/SXAt_TFayK8
夏	奈良の夏の夜	中国 (4.9万人)	https://youtu.be/SRzbhmiJdvE
	縄文まつり	台湾 (12万人)	https://youtu.be/bvx3p-FUXzs
秋	二条城イベント	米国 (2万人) ※	https://youtu.be/qByJyEHcuCA
	首里城復興祭	豪州 (16・8万人)	https://youtu.be/Rx80Fjbeito
	白川郷・五箇山放水訓練	米国 (5万人) ※	https://youtu.be/CzsH0f0vk2k
冬	姫路城イルミネーション	米国 (4万人) ※	https://youtu.be/VrWWvt1kL28
	サイレント・クリスマス	韓国 (11・9万人)	https://youtu.be/3AaSzcvIE6s

2019は英・仏・西に Facebook、20は米国(NY/ロス)と東京、21は独・伊・伯・露に Youtube 配信

(3) 世界文化遺産スタンプラリー

2022年3月スタート。スタンプ・パンフレットは遺産ごとに20種類（遺産数）、配布・設置総数31万部。



遺産別スタンプ設置箇所（58箇所）と特に配布枚数が多かった箇所は以下。

- ①縄文遺跡群（弘前市文化体育センター・ニツ森貝塚館・御所野縄文博物館・伊勢堂岱縄文館）
- ②平泉（平泉文化遺産センター）
- ③日光（MEKKE 日光）
- ④富岡製糸場と絹産業遺産群（富岡製糸場・高山社跡・田島弥平旧宅案内所・荒船風穴広場）
- ⑤国立西洋美術館（浅草文化観光センター・台東区役所）
- ⑥富士山（JR 新富士駅構内観光案内所・三保松原文化創造センター「みほしるべ」・富士山本宮浅井間大社観光案内所「寄って宮」・裾野市観光協会・山中湖村観光案内所・身延観光案内所）
- ⑦白川郷・五箇山（白川郷バスターミナル・白川郷観光案内所・相倉集落駐車場内財団事務所）
- ⑧京都（二条城・坂本観光案内所・お茶と宇治のまち歴史公園）
- ⑨奈良（県営平城宮天平みつき館・JR 奈良駅観光案内所）
- ⑩法隆寺（法隆寺Ⅰセンター）
- ⑪百舌鳥・古市古墳群（百舌鳥古墳群ビジターセンター）
- ⑫紀伊山地の霊場と参詣道（世界遺産熊野本宮館・JR 紀伊勝浦駅観光案内所・高野町観光センター・吉野町観光案内所・天川村総合案内所・道の駅 熊野 花の窟・三重県立熊野古道センター）
- ⑬姫路城（姫路城登閣口横）
- ⑭原爆ドーム（平和公園レストハウス）
- ⑮厳島神社（TOTO 宮島おもてなしトイレ2F）
- ⑯石見銀山（世界遺産センター）
- ⑰明治日本の産業革命遺産（橋野鉱山インフォメーションセンター・葦山反射炉ガイダンスセンター・萩明倫学舎・旧鹿児島紡績所技師館・遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター・グラーブ園内旧三菱第二ドックハウス・龍驤館）
- ⑱沖ノ島・宗像（海の道むなかた館・大島交流館）
- ⑲潜伏キリシタン関連遺産群（長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター・春日集落案内所・黒島ウェルカムハウス・有馬キリシタン遺産記念館・崎津資料館みなと屋）
- ⑳琉球王国（首里城公園レストセンター・緑の館セーファ・中城城跡入口財団事務所・あまわりパーク観光案内所・今帰仁村グスク交流センター）

世界遺産スタンプ設置場所	押印者(パンフ設置)数
1) 富岡製糸場 (富岡市)	2・4万部
2) 姫路城登閣口横 (姫路市)	2・1万部
3) 葦山反射炉ガイダンスセンター (伊豆の国市)	1・8万部
4) 百舌鳥古墳群ビジターセンター (堺市)	1・6万部
首里城公園レストセンター (那覇市)	1・6万部
6) JR 奈良駅観光案内所 (奈良市)	1・2万部
緑の館セーフア (南城市)	1・2万部
あまわりパーク (うるま市)	1・2万部
9) 道の駅・熊野古道伊勢路 (三重県)	1・1万部
10) 平泉文化遺産センター (平泉町)	1・0万部
三保松原文化創造センター「みほしるべ」 (静岡市)	1・0万部

(4) いい遺産の日(11月13日 <周辺日>)における「世界遺産一斉清掃」

宗像市の呼びかけにより、11の世界遺産関連地・団体・市民が参加し実現。

参加した市民(一部 観光客)は約1500人。

御所野遺跡(北海道・北東北の縄文遺跡群:一戸町:写真①)、日光門前町(②)、荒船風穴(富岡製糸場と絹産業遺産群:下仁田町③)、三保松原(富士山:静岡市④)、熊野古道伊勢路、京都、奈良、宗像(⑤)、遠賀川水源ポンプ室(明治日本の産業革命遺産:中間市)、原城跡(潜伏キリシタン:南島原市)、首里城(琉球王国:那覇市⑥)。



①



②



③



④



⑤



⑥

(議案2) (一社)世界文化遺産地域連携会議

2022年度決算報告

1 収入の部(単位・円)

項目	2022年度 決算額	2022年度 予算額	2021年度 決算額	2022決算額 備考
① 市町村長会 会費	1,440,000	1,370,000	1,280,000	
② 事業収入 (世界遺産リレー 催事実行委員会)	51,560,699 (44,150,699)	50,106,000 (42,662,000)	74,657,304 (45,468,000)	・リレー催事: 国 27,662,000 円、 支出同額となる 地元負担催事 16,488,699 円 ・PT ごとの収支 は国庫返納分 含め均衡 ・21 年度日本観 光振興協会より
(紀伊山地 PT)	(0)	(0)	(22,928,260)	
(斑鳩 PT)	(3,450,000)	(3,484,000)	(3,464,044)	
(石見銀山 PT)	(3,960,000)	(3,960,000)	(2,497,000)	
(サミット協力金)	(0)	(0)	(300,000)	
③ 交流会費	0	0	0	
④ 寄付金	0	0	0	
⑤ 利息	93	0	148	
⑥ 繰越金	3,604,861	3,604,861	4,063,984	
収入計	56,605,653	55,080,861	80,001,436	

2 支出の部(単位・円)

項目	2022年度 決算額	2022年度 予算額	2021年度 決算額	備考(主には収入の 部①④⑤⑥に対応)
1 要望活動費	0	120,000	112,142	冊子作成・筆耕・郵送
2 会議費	348,560	250,000	211,442	総会ほか
3 イベント費	29,500	200,000	386,160	サミット協力等
4 広報費 ・リレー催事	44,429,177 (44,402,499)	43,167,968 (42,937,968)	46,032,826 (45,545,847)	収入の部②に対応 リレー催事収入との差 額 251,800 円が会の 自己負担分
・SNS 関係	(26,678)	(30,000)	(25,679)	
・その他	(0)	(200,000)	(461,300)	
5 事業推進費 ・紀伊山地 PT	7,428,920 (0)	7,474,000 (0)	28,942,084 (22,928,260)	収入の部②に対応 終了
・斑鳩 PT	(3,450,000)	(3,484,000)	(3,464,044)	
・石見銀山 PT	(3,960,000)	(3,960,000)	(2,497,000)	
その他	(18,920)	(30,000)	(52,780)	
6 調査研究費	40,074	50,000	50,982	参加費・入場料等
7 旅費交通費	343,508	250,000	389,806	別途、リレー催事予算 内に 1,191,590 円計上
8 通信費	53,644	50,000	40,893	
9 消耗品費	53,337	100,000	131,590	事務機材・文具・コピ ー等
10 地代家賃	264,120	260,000	0	貸倉庫・貸金庫
11 事務雑費	100,880	100,000	98,650	税、税理士、登記変更 等
支出計	53,091,720	52,021,968	76,396,575	
次年度繰越金	3,513,933	3,058,893	3,604,861	
支出計	56,605,653	55,080,861	80,001,436	

上記「世界文化遺産」地域連携会議の2022年度決算およびその領収書類につき監査した結果、それが適正に処理されていることを認めます。

(監事)

(議案3)2023年度 事業計画

1 連携・交流

(1)第10回世界遺産サミットの開催

京都→和歌山→岩手→石見銀山→姫路→日光→沖縄→富士宮(分科会のみリモート開催)→富岡 に続き、記念すべき10回目の開催となる。

世界遺産サミット in 斑鳩(案)	※敬称略、今後の調整過程で若干の変更が生じる可能性があります
テーマ：～温故知新 「世界遺産の普遍的価値の継承と活用をデザインする持続可能な地域づくり」～	
●1日目／10月28日(土)	
9:00～12:00 エクスカーション 世界文化遺産法隆寺をめぐる(希望者のみ)	
13:00～14:30 [ディスカッション①] 歴史から学ぶ「近世から近代における世界文化遺産の観光史」コーディネーター: 谷山正道(元天理大学教授)	
パネリスト: 森下恵介(元奈良市埋蔵文化財センター長)ほか各遺産より	
15:00～16:30 [ディスカッション②] 現在 いま を知る「歴史・文化遺産都市を支える『地域づくり』」コーディネーター: 麻生憲一(帝京大学経済学部教授・奈良県立大学名誉教授)	
パネリスト: 地域の代表者 大野正法(法隆寺執事長) 山本雅章(斑鳩町教育長)	
各世界遺産関係者、世界文化遺産地域連携会議関係者、熊田順一(JTB 総合研究所主席研究員)	
17:00～18:00 「法隆寺西院伽藍特別ライトアップ」、「和のあかりと未来へのひかり」	
18:30～20:00 交流会	
●2日目／10月29日(日)	
9:00 開会式・オープニング 斑鳩小学校「薪能」など	
9:50 講演: 古谷正覚(法隆寺管長)	
10:10 ディスカッション報告	
10:30 「持続可能な観光を考える ～文化遺産と地域住民と観光客が果たす役割～」	
山北栄二郎(UNWTOアジア・太平洋地区理事、株式会社 JTB 代表取締役社長)	
11:10 首長会議(参加市区町村長)	
午後: エクスカーション(希望者のみ)	

(2)メーリングリストの継続

(3)総会・全体交流会(6月20日)

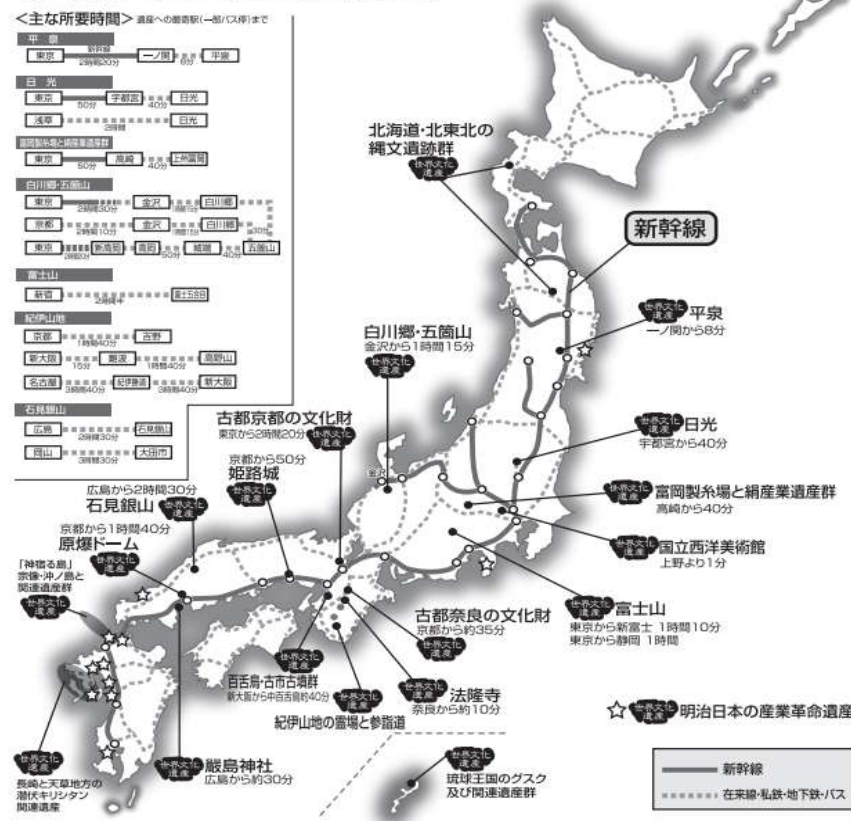
2 要望活動（6月20日 ほか）

世界文化遺産の永続的保全とその持続的活用を目指して

1 世界遺産を核とした日本インバウンドの再興

- (1)「世界遺産連続イベント」への支援継続
- (2)海外への世界遺産情報発信予算(国費)の確保
- (3)文化庁・観光庁施策のより柔軟な運用(「世界遺産 全体」についても支援対象に)
- (4)DMOにつき、全国縦断テーマ型のものについても認証を

新幹線で行く世界文化遺産



2 「世界遺産特別法」の制定等

- (1)「世界遺産特別法」制定により、世界遺産の保全・活用を重要な国策の一つに
- (2)遺産影響評価及び緩衝地帯の在り方につき国として検討を
- (3)各世界遺産の個性を踏まえたきめ細かな保全施策の実施
- (4)世界遺産防災・長期修繕のための優遇措置(国際観光旅客税の活用)

周辺整備における歴史まちづくり法などを活用したさらなる支援充実

3 世界遺産など都道府県観光資源の再整理

4 各遺産地別の現況と要望内容

3 遺産別PT(プロジェクトチーム)

○文化庁「文化財総合活用事業」予算によるプロジェクトチーム(PT)運営は、紀伊山地の霊場と参詣道 PT が2021年度、斑鳩 PT・石見銀山PTが2022年度に5年間の活動をいったん終了した。時点では奈良および紀伊山地の霊場と参詣道が2024年度からの開始・再開を検討中であるが、以外にも会 PT としての同予算活用に関心ある地域は早めに事務局までご相談願いたい。

○また会として縄文PT(北秋田市など)、サイレントクリスマスPT(南島原市など)実施に関する観光庁への予算申請(インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業)をおこなっているが、時点での採否は未定である。

4 共同事業の推進

○「日本博」予算の終了により、2022年までの事業レベル確保が困難な状況にある。

○現時点では国予算(観光庁の「観光再始動事業(再募集)」や「ロング・ストーリー事業」など)の確保に取り組んでいるが、採否については不透明であり、当面は以下のような方法で事業を実施する。

○世界遺産リレー催事については2023年3月で一旦終了。ただし、

- ・HP や映像については引き続き現状のものを会として活用する
- ・催事の年間ラインアップについては当面「歳時記」として残す

○世界遺産スタンプラリーについては現状のリーフレットがなくなった時点で、

A: (費用負担が生じ大変恐縮ではあるが)すでに会より提供済のリーフレット押印ページの版を活用いただき、各地ごとに印刷する形で当面の対応をいただきたい

B: 上記が難しい場合、共通印刷物は常備せず、それぞれの既存パンフレット等に押印いただく形で対応願いたい

C: 以上が難しくスタンプ設置の一時休止もしくは中止する場合はその旨の通知をお願いする

※ 収集家の方などからのご要望に対しては、保管分の提供など、会として極力最善の対応をおこなう

○世界遺産一斉清掃の継続・発展については、上記とは別途、呼びかけいただいた宗像市や大人数の参加があった静岡市などと協議する。

(議案4) (一社)世界文化遺産地域連携会議

2023年度予算

1 収入の部(単位・円)

項目	2023年度 予算額	前年度 決算額	前年度 予算額	2023年度 予算備考
①会費	1,440,000	1,440,000	1,370,000	
②事業収入	0	51,560,699	50,106,000	・2023・4 時点
・世界遺産リレー 催事実行委員会	(0)	(44,150,699)	(42,662,000)	・(「日本博」 予算終了)
・紀伊山地 PT	(0)	(0)	(0)	・(文化財総合 活用予算終了)
・斑鳩 PT	(0)	(3,450,000)	(3,484,000)	・(同)
・石見銀山 PT	(0)	(3,960,000)	(3,960,000)	・(同)
・サミット助成金	(0)	(0)	(0)	・(2021限定)
③交流会費	240,000	0	0	
④寄付金	0	0	0	
⑤利息	0	93	0	
⑥繰越金	3,513,933	3,604,861	3,604,861	
収入計	5,193,933	56,605,653	55,080,861	

2 支出の部(単位・円)

項目	2023年度 予算額	前年度 決算額	前年度 予算額	2023年度 予算備考
1 要望活動費	200,000	0	120,000	冊子作成・筆耕・ハイヤー
2 会議費 ・総会・交流会 ・その他	800,000 (700,000) (100,000)	348,560	250,000	・一部収入の部③に対応
3 イベント費	0	29,500	200,000	サミット協力等
4 広報費 ・リレー催事 ・SNS 関係 ・その他	1,030,000 0 (30,000) (1,000,000)	44,429,177 (44,402,499) (26,678) (0)	43,167,968 (42,937,968) (30,000) (200,000)	
5 事業推進費 ・紀伊山地 PT ・斑鳩 PT ・石見銀山 PT その他	0 (0) (0) (0) (0)	7,428,920 (0) (3,450,000) (3,960,000) (18,920)	7,474,000 (0) (3,484,000) (3,960,000) (30,000)	
6 調査研究費	50,000	40,074	50,000	
7 旅費交通費	300,000	343,508	250,000	
8 通信費	50,000	53,644	50,000	
9 消耗品費	50,000	53,337	100,000	
10 地代家賃	25,000	264,120	260,000	貸倉庫
11 事務雑費	80,000	100,880	100,000	税、税理士等
支出予算計	2,585,000	53,091,720	52,021,968	
次年度繰越金	2,608,933	3,513,933	3,058,893	
支出計	5,193,933	56,605,653	55,080,861	

(議案5) 課題への対応

○定款改訂(2022総会よりの継続議論)

現状の定款12条(議決権)では「各社員は、各1個の議決権を有する」とあり、民間メンバーと各市区町村が等しく1議決権を有しているため、特に書面決議等をおこなう際の官民不均衡の問題が指摘されている。

現時点では継続意思確認後の民間メンバーが約70名となっているためかなり均衡が取れているものの、今後、民間メンバーが従来の100名程度に増加する可能性があるのに対し、市区町村数が大きく増加する可能性は低いため、この部分の規約改訂をおこなう。

改訂案

定款12条(各社員は、各1個の議決権)を「各社員は各1個の議決権、理事は各2個の議決権を有する」に改訂

○会の安定的運営に向けて

※別紙参照

ご参考:会財政の推移

年度	決算額(万円)	備考
2016	429	
2017	1666	紀伊山地 PT 始まる(2017-2021)
2018	3466	斑鳩 PT・石見銀山 PT(2018-2022)
2019	7981	日本博(2019-2022)
2020	8114	
2021	8000	
2022	5660	
2023	519	※予算額

(一社)世界文化遺産地域連携会議 定款(2018年7月制定、2022年8月一部改訂分)

第1章 総則

第1条(名称) 当法人は、一般社団法人「世界文化遺産」地域連携会議と称する。

第2条(主たる事務所) 当法人は、主たる事務所を京都市中京区に置く。

第3条(目的) 当法人は、日本国内の「世界文化遺産」に関係する市町村および特別区と、それに関連する専門家や市民リーダーが連携し、世界文化遺産の永続的な保全やそれを活用した観光、地域づくりを実践・提案するとともに、各種の共同事業を実施していくことをその目的とする。

第4条(公告) 当法人の公告は、電子公告(<http://www.worldheritagejpn.com/>)の方法により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第2章 社員

第5条(入社) 1 当法人は、その目的に賛同し入社した、世界文化遺産を有する日本の市町村長や特別区長、世界文化遺産・地域づくり・観光・地域連携などにかかわる専門家、地域リーダー、情報・観光関係者、行政スタッフなどを社員とする。2 社員となるには、社員1名以上の推薦と社員総会での承認を得るものとする。3 同一の企業グループ関係者、または三親等以内の親族からの社員は原則5名以内とする。

第6条(社員の資格喪失) 社員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。1 退社したとき 2 成年被後見人または被保佐人になったとき 3 死亡し、もしくは失踪宣告を受け、または解散したとき 4 除名されたとき 5 社員総会における同意があったとき

第7条(退社) 社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前に当法人に対して予告をするものとする。

第8条(除名) 当法人の社員が当法人の名誉を棄損、もしくは当法人の目的に反する行為をしたとき、または社員としての義務に違反したときは、社員総会の特別決議によりその社員を除名することができる。

第3章 社員総会

第9条(社員総会) 当法人の社員総会は、定時社員総会および臨時社員総会とし、定時社員総会は毎事業年度の終了後3か月以内に、臨時社員総会は必要に応じて開催する。

第10条(招集) 社員総会の招集は、代表理事が行う。招集通知は、会日より1か月前までに各社員に対して発する。

第11条(決議の方法) 社員総会の決議は、法令に特別の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が委任状を含め参加し、その過半数をもってこれを行う。

★第12条(議決権) 各社員は、各1個の議決権を有する(←今回の変更候補箇所)。

第13条(議長) 社員総会の議長は、代表理事がこれに当たる。代表理事に事故があるときは、当該社員総会で議長を選出する。

第14条(議事録) 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

第15条(内部組織) 1 要望活動実施などを目的に、会の内部組織として、市町村・特別区長会を設置する。

2 社員は会の内部組織として、複数社員を構成メンバーとする研究会、プロジェクトチームなどを結成することができる。

3 研究会・プロジェクトチーム等、会に関係する組織結成にあたっては、活動開始前に代表理事、また活動開始後初回の社員総会にて承認を得るものとする。

第4章 役員

第16条(役員) 当法人に次の役員を置く。1 理事:世界文化遺産を持つ市町村長および民間人若干名 2 代表理事:1名

第17条(任期) 1 理事の任期は、選任後2年以内の最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。2 理事が、辞任等により定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

第18条(理事・職務権限) 1 理事は社員総会の決議によって社員の中から選任する。2 理事は、当法人に関する業務執行を行う。

第19条(代表理事・職務権限) 1 当法人は、代表理事1名を置き、理事の互選によって定める。2 代表理事は、当法人を代表し、当法人の業務を統括する。

第5章 計算

第20条(事業年度) 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの年1期とする。

第21条(事業計画および収支予算) 1 当法人の事業計画および収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに代表理事が作成し、直近の社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も同様とする。2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しない時は、代表理事は社員総会の議決に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

第22条(剰余金の分配の禁止) 当法人の剰余金は、これを一切分配してはならない。当法人が解散(合併または破産による解散を除く)したときに残存する財産は、国や一定の公益的団体に贈与する。

(一社)世界文化遺産地域連携会議 (2023年4月30日現在)

顧問	松浦晃一郎 (元・ユネスコ事務局長)
代表理事	門川大作 (京都市長)
副代表理事	松井一寛 (広島市長) 仲川げん (奈良市長) 清元秀泰 (姫路市長) 粉川昭一 (日光市長) 中西和夫 (斑鳩町長)
理事	(青森市長) 櫻田宏 (弘前市長) 倉光弘昭 (つがる市長) 小又勉 (七戸町長) 山崎結子 (外ヶ浜町) 小野寺美登 (一戸町長) 津谷永光 (北秋田市長) (鹿角市長) 青木幸保 (平泉町長) 榎本義法 (富岡市長) 臂泰雄 (伊勢崎市長) 新井雅博 (藤岡市長) 原秀男 (下仁田町長) 服部征夫 (東京都台東区長) 堀内茂 (富士吉田市長) 渡辺喜久男 (富士河口湖町長) 望月幹也 (身延町長) 高村正一郎 (山中湖村長) 難波喬司 (静岡市長) 須藤秀忠 (富士宮市長) 村田悠 (裾野市長) 勝又正美 (御殿場市長) 小長井義正 (富士市長) 込山正秀 (小山町長) 成原茂 (白川村長) 田中幹夫 (南砺市長) 佐藤健司 (大津市長) 松村淳子 (宇治市長) 河上敢二 (東紀州地域振興公社理事・熊野市長) 中井章太 (吉野町長) 車谷重高 (天川村長) 真砂充敏 (田辺市長) 堀順一郎 (那智勝浦町長) 平野嘉也 (高野町長) 井濤誠 (白浜町長) 永藤英機 (堺市長) 松本太郎 (廿日市市長) 楫野弘和 (大田市長) 野田武則 (釜石市長) 山下正行 (伊豆の国市長) 田中文夫 (萩市長) 福田健次 (中間市長) 坂井英隆 (佐賀市長) 鈴木史朗 (長崎市長) 守田憲史 (宇城市長) 下鶴隆央 (鹿児島市長) 伊豆美沙子 (宗像市長) 原崎智仁 (福津市長) 宮島大典 (佐世保市長) 黒田成彦 (平戸市長) 松本政博 (南島原市長) 野口市太郎 (五島市長) 馬場昭治 (天草市長) 知念覚 (那覇市長) 中村正人 (うるま市長) 古謝景春 (南城市長) 久田浩也 (今帰仁村長) 浜田京介 (中城村長) 比嘉孝則 (北中城村長) 有川雄二郎 (元・SAP代表) 井戸智樹 (一社・地域連携研究所代表理事) 大社充 (DMO推進機構代表理事) 熊倉浩靖 (高崎商科大学特任教授) 後藤治 (工学院大学理事長・総合研究所教授) 島川崇 (神奈川大学国際日本学部教授) 藤本貴也 (全国街道交流会議代表幹事)

社員

朝廣佳子(読売奈良ライフ代表)、阿施智行(ラオックス・メディアソリューションズ代表取締役)、安藤周治(ひろしまNPOセンター代表・NPOひろしまね理事長)、石丸美穂子(熊野古道ガイド)、糸永正之(アラスカ大フェアバンクス校特別顧問)、乾昌弘(明新社社長:奈良)、入江田翔太(MEBUKU 代表取締役)、岩垣保(テレビマンユニオン・世界ふしぎ発見プロデューサー)、植木孝(株・地球の歩き方 旅行マーケティング部)、上野誠(国学院大学教授)、内山裕紀子(くまの体験企画代表)、内海一郎(三重県東紀州振興課長補佐)、大國晴雄(元・大田市教育長)、大窪健之(立命館大学研究部長)、大田原功(今帰仁グスクを学ぶ会理事長)、大山耕介(PHP 研究所文化事業局長)、岡井健(NPO日光門前まちづくり理事長)、緒方修(NPOアジアクラブ理事長・日本GNH学会会長:沖縄)、小川登志子(富士宮市観光協会長)、小野寺郁夫(小野寺設計室代表:平泉)、片上敏喜(日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科専任講師)、上村大平(奈良県商工会連合会)、川崎阿久里(世界文化社グループ・世界文化社・編集プロモーション部)、木谷俊樹(読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」プロデューサー)、桐野耕一(長崎コンプラドール代表)、久遠裕子(株式会社ユニバーサルワーカーズ取締役、軍艦島コンシェルジュ・統括マネージャー、軍艦島デジタルミュージアム・プロデューサー)、久保哲矢(NAKED エグゼクティブ・プロデューサー)、久保美智代(旅する世界遺産研究家、アナウンサー・キャスター)、小池秀明(NPO日光門前まちづくり事務局長)、小泉和子(フォーリン・プレスセンター広報戦略課長)、佐滝剛弘(京都光華女子大学キャリア形成学部教授・NPO産業観光学習館専務理事)、塩見正成(大阪観光局マーケティング事業部長・JTB)、城之内ミサ(音楽家・ユネスコ平和芸術家)、須藤元(ジェイキャスト顧問)、高橋一夫(近畿大教授)、高橋史郎(一般財団法人公園財団 肥後細川庭園)、多田稔子(田辺市熊野ツーリズムビューロー会長)、多田みのり(歴史と旅のライター・奈良市観光使)、辰巳裕(NPO奈良好き人のつどい理事長)、田中恭一(一般社団法人総合研究フォーラム・コーディネーター)、田中俊徳(九州大学アジア・オセアニア研究教育機構准教授)、谷博子(元JNTOソウル事務所長)、長南哲生(日光世界遺産の会)、土居好江(一般社団法人京すずめ文化観光研究所代表)、富井義夫(世界遺産写真家)、中野秀俊(旅行読売メディアプロモーション部)、中村直美(交通新聞社コミュニケーションデザイン事業部長)、中山栄一郎(歴史と出会うまちづくり船場城西の会:姫路)、滑田教夫(京都旅企画代表)、野添ちかこ(ライター)、野々村邦夫(日本地図センター顧問)、花井正光(琉球弧世界遺産フォーラム代表、元琉球大学教授)、浜野伸二(JA全中広報部・東京成徳大学非常勤講師)、平井佳亜樹(一般社団法人・西芳会)、福井善朗(山陰インバウンド機構代表理事)、三島敏樹(白川郷・田島家養蚕展示館館長)、三石学(熊野旅の文化企画代表)、皆川広一(さくら FM 代表取締役)、宮澤光(NPO世界遺産アカデミー主任研究員)、宗田好史(京都府大名誉教授)、村田武一郎(奈良フェニックス大学運営委員長)、矢野純一(フォーリンプレスセンター 取材協力課長)、八重樫忠郎(平泉文化センター客員教授)、山上直子(サンケイ新聞論説委員)、山内道美(今帰仁グスクを学ぶ会前・事務局長)、吉永憲(共同ピーアール)、渡邊智彦(一般社団法人京すずめ文化観光研究所)

監事 寺田昭一

